

2017/4～2017/6 にっしん景況レポート

2017/7

Vol.
5



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成29年4～6月の景気の現状と平成29年7～9月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成29年4～6月の実績(6月については予想)
平成29年7～9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の356社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成29年4～6月
前期 = 平成29年1～3月
前年同期 = 平成28年4～6月
来期 = 平成29年7～9月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	152	49	21	18	25	19	20
三木地区	51	16	9	6	7	9	4
神戸地区	153	24	24	17	39	26	23
業種合計	356	89	54	41	71	54	47

● 今期の景況

今期(平成29年4月～6月)の全業種における業況判断D.I.は0.8となり、前期実績と比して2.6ポイントの低下となった。

売上額判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して5.9ポイントの改善、収益判断D.I.は▲0.8となり、前期実績と比して1.7ポイントの改善となった。

売上額判断D.I.の前年同期比は3.9、収益判断D.I.の前年同期比は5.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額及び収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

販売価格判断D.I.は5.4、仕入価格判断D.I.は22.4となり、販売価格と仕入価格はどちらも「上昇」と回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲0.3となり、資金繰りを「楽」と感じている企業より、資金繰りを「苦」と感じている企業の割合がわずかに多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲32.0となり、前期実績よりも5.6ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(平成29年7月～9月)の予想業況判断D.I.は12.1と今期実績0.8から11.3ポイント改善する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は15.2、予想収益判断D.I.は12.6となり、いずれも改善する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	19	66	189	74	8	356
回答割合	5.3%	18.5%	53.1%	20.8%	2.2%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 23.876\% - 23.034\% \div 0.8$$

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	3.4	0.8	12.1	販売価格(前期比)	3.1	5.4	5.9
売上額(前期比)	▲5.9	0.0	15.2	仕入価格(前期比)	22.5	22.4	20.7
売上額(前年同期比)	2.3	3.9	—	資金繰り(楽-苦)	1.1	▲0.3	▲1.1
収益(前期比)	▲2.5	▲0.8	12.6	人手不足(過剰-不足)	▲37.6	▲32.0	▲36.5
収益(前年同期比)	1.7	5.6	—				

〈平成29年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	8.6	14.3	9.5	▲22.2	▲4.0	26.3	20.0
三木地区	▲11.8	▲6.3	▲33.3	▲33.3	0.0	0.0	0.0
神戸地区	▲2.6	0.0	▲29.2	▲11.8	▲20.5	26.9	26.1
全地区	0.8	6.7	▲14.8	▲19.5	▲12.7	22.2	21.3

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は6.7となり、前期実績と比して8.1ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲2.2、収益判断D.I.は▲1.1となり、前期実績と比してそれぞれ3.3ポイント、10.1ポイントの低下となった。売上額判断D.I.の前年同期比は13.5、収益判断D.I.の前年同期比は11.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲21.3となり、前期実績から15.8ポイント改善しているものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は12.4と今期実績から5.7ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上判断D.I.は19.1、予想収益判断D.I.は19.1となり、それぞれ今期実績から21.3ポイント、20.2ポイント改善する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	14.8	6.7	12.4	販売価格(前期比)	1.1	4.5	4.5
売上額(前期比)	1.1	▲2.2	19.1	仕入価格(前期比)	22.7	33.7	23.6
売上額(前年同期比)	5.6	13.5	—	資金繰り(楽-苦)	3.4	▲2.2	▲2.2
収益(前期比)	9.0	▲1.1	19.1	人手不足(過剰-不足)	▲37.1	▲21.3	▲27.0
収益(前年同期比)	4.5	11.2	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲14.8となり、前期実績と比して8.8ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は20.4、収益判断D.I.は22.2となり、前期実績と比してそれぞれ53.1ポイント、38.9ポイントと大幅な改善となった。売上額判断D.I.の前年同期比は▲3.7、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は減少、収益は変わらずと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲18.5となり、前期実績から7.4ポイントと改善しているものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲3.7と今期実績から11.1ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は7.4、予想収益判断D.I.は11.1となり、それぞれ今期実績から13.0ポイント、11.1ポイント低下する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲23.6	▲14.8	▲3.7	販売価格(前期比)	1.9	5.6	11.1
売上額(前期比)	▲32.7	20.4	7.4	仕入価格(前期比)	14.8	16.7	18.5
売上額(前年同期比)	▲7.4	▲3.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.9	▲1.9	▲7.4
収益(前期比)	▲16.7	22.2	11.1	人手不足(過剰-不足)	▲25.9	▲18.5	▲20.4
収益(前年同期比)	▲1.9	0.0	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲19.5となり、前期実績と比して9.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.と収益判断D.I.はどちらも▲9.8となり、前期実績と比してそれぞれ4.8ポイント、9.7ポイント改善となった。売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.3、収益判断D.I.の前年同期比は12.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額及び収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲29.3となり、前期実績よりも7.3ポイント悪化し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は7.3と今期実績から26.8ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は22.0、予想収益判断D.I.は17.1となり、それぞれ今期実績から31.8ポイント、26.9ポイント改善する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲10.0	▲19.5	7.3	販売価格(前期比)	2.4	2.4	12.2
売上額(前期比)	▲14.6	▲9.8	22.0	仕入価格(前期比)	22.0	12.2	17.1
売上額(前年同期比)	9.8	▲7.3	—	資金繰り(楽-苦)	▲14.6	▲17.1	▲12.2
収益(前期比)	▲19.5	▲9.8	17.1	人手不足(過剰-不足)	▲22.0	▲29.3	▲39.0
収益(前年同期比)	▲9.8	▲12.2	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.7となり、前期実績と比して5.7ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲11.3、収益判断D.I.は▲15.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は5.6ポイント改善、収益判断D.I.は2.8ポイントの低下となった。また売上額判断D.I.の前年同期比は0.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲4.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は変わらず、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲62.0となり、前期実績から変わらず人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は5.6と今期実績から18.3ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は2.8、予想収益判断D.I.は0.0となり、それぞれ今期実績から14.1ポイント、15.5ポイント改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲7.0	▲12.7	5.6	販売価格(前期比)	7.0	11.3	1.4
売上額(前期比)	▲16.9	▲11.3	2.8	仕入価格(前期比)	23.9	30.0	22.9
売上額(前年同期比)	▲7.0	0.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲8.5	▲5.6	▲11.3
収益(前期比)	▲12.7	▲15.5	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲62.0	▲62.0	▲59.2
収益(前年同期比)	▲5.6	▲4.2	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は22.2となり、前期実績と比して1.4ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲3.7、収益判断D.I.は▲1.9となり、前期実績と比してそれぞれ5.6ポイント、1.9ポイントの低下となった。また売上額判断D.I.の前年同期比は0.0、収益判断D.I.の前年同期比は18.5となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は変わらず、収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲25.9となり、前期実績から13.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は29.6と今期実績から7.4ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は31.5、予想収益判断D.I.は22.2となり、それぞれ今期実績から35.2ポイント、24.1ポイント改善する見通しとなっている。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	20.8	22.2	29.6	販売価格(前期比)	▲5.7	▲1.9	5.6
売上額(前期比)	1.9	▲3.7	31.5	仕入価格(前期比)	21.2	11.3	13.2
売上額(前年同期比)	3.8	0.0	—	資金繰り(楽-苦)	3.8	9.3	13.0
収益(前期比)	0.0	▲1.9	22.2	人手不足(過剰-不足)	▲39.6	▲25.9	▲38.9
収益(前年同期比)	7.5	18.5	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は21.3となり、前期実績と比して0.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は10.6、収益判断D.I.は4.3となり、前期実績と比してそれぞれ17.7ポイント、15.3ポイント低下となった。また売上額判断D.I.の前年同期比は14.9、収益判断D.I.の前年同期比は17.0となり、昨年の同じ時期に比べ売上額及び収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲31.9となり、前期実績よりも5.8ポイント悪化し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は23.4と今期実績から2.1ポイント改善する見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は10.6、予想収益判断D.I.は6.4となり、今期実績から売上額判断D.I.は変わらず、収益判断D.I.は2.1ポイント改善する見通しとなっている。

〈不動産業主要D.I.〉

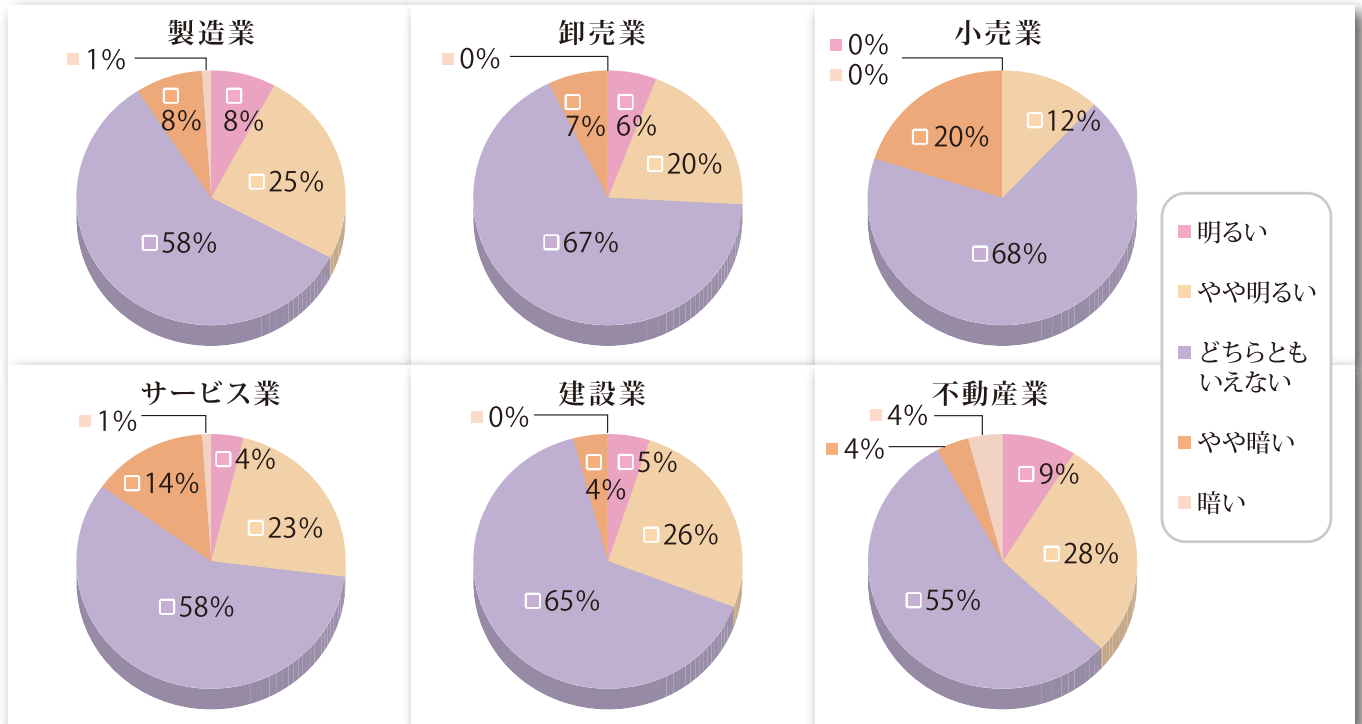
	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	21.7	21.3	23.4	販売価格(前期比)	13.3	8.7	4.3
売上額(前期比)	28.3	10.6	10.6	仕入価格(前期比)	31.1	17.8	26.7
売上額(前年同期比)	13.0	14.9	—	資金繰り(楽-苦)	26.1	17.0	17.0
収益(前期比)	19.6	4.3	6.4	人手不足(過剰-不足)	▲26.1	▲31.9	▲34.0
収益(前年同期比)	15.2	17.0	—				

特別調査：中小企業の3～5年後の事業の見通しについて

～3～5年後の事業の見通しに関して～

3～5年後の自社の事業の見通しについて、「明るい(「明るい」、「やや明るい」の合計)」と「暗い(「暗い」、「やや暗い」の合計)」を比較すると、全体では「明るい」の回答割合が高い結果となった。しかし、「どちらともいえない」の回答割合が6割を占めており、事業の見通しへの不透明感が非常に強いことがうかがわれた。

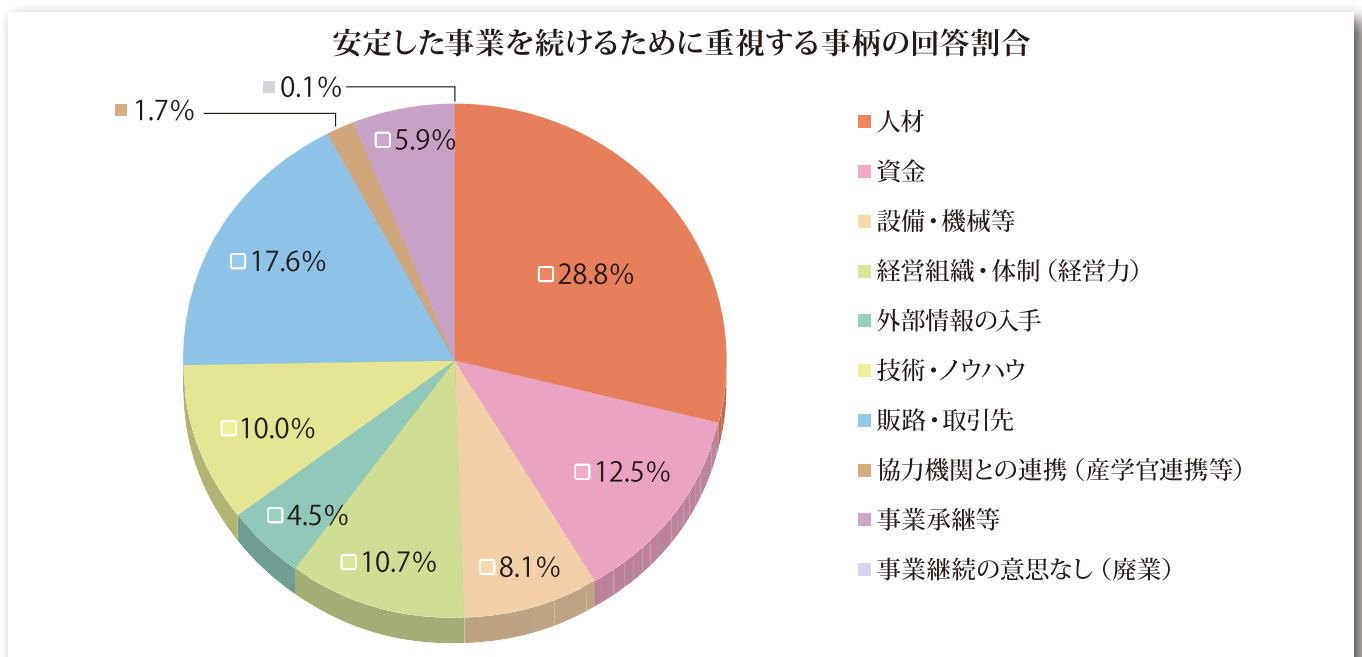
また、業種別で見ると、小売業において、3～5年後の事業の見通しについては「暗い」との回答割合が高かった。今回の景気動向調査の結果においても、業況判断D.I.で、小売業が業種別で一番低い値となっており、自社の事業の先行きが見通しにくいと考えている様子がうかがわれた。



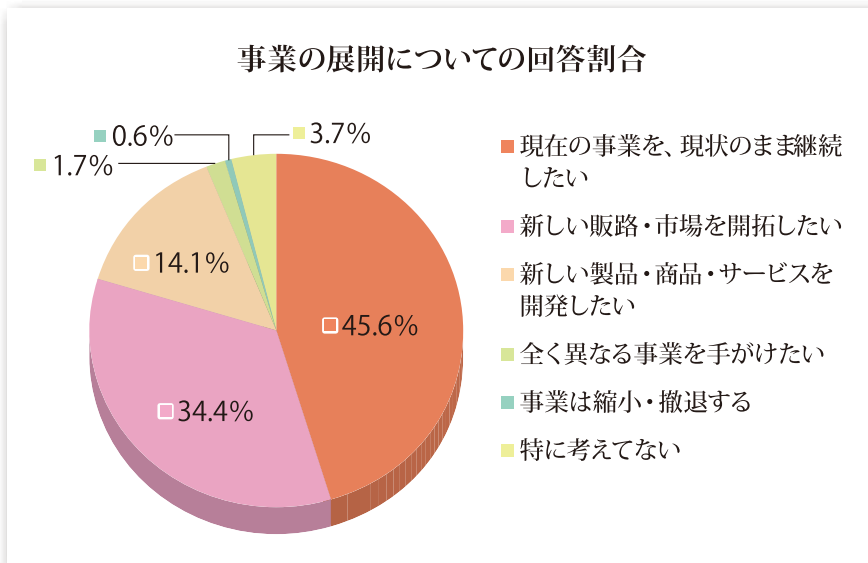
～安定した事業の継続に関して～

3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、「人材(28.8%)」と回答した企業が最も多く、次いで「販路・取引先(17.6%)」、「資金(12.5%)」、「経営組織・体制(経営力)(10.7%)」、「技術・ノウハウ(10.0%)」、「設備・機械等(8.1%)」となった。

これに対して、「外部情報の入手(4.5%)」、「協力機関との連携(産学官連携等)1.7%」の回答割合は低い結果となった。



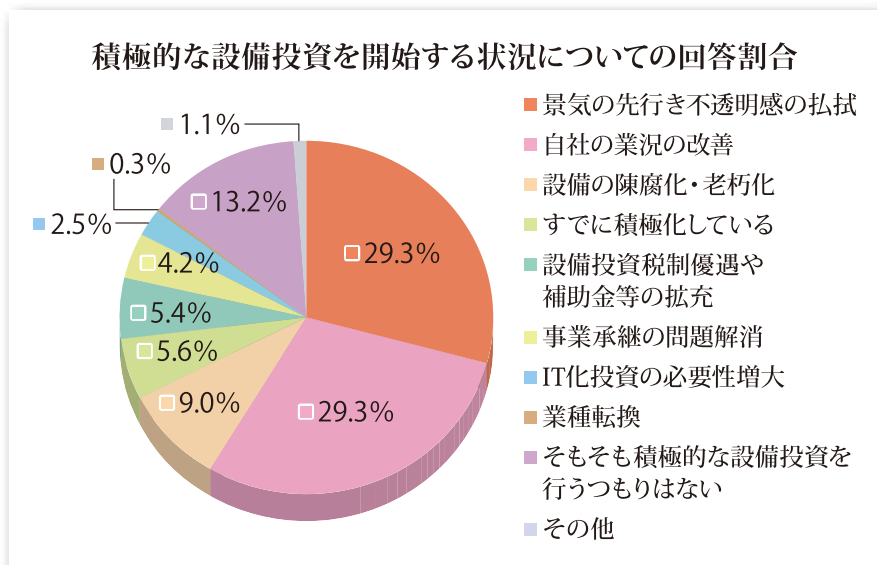
○ ～3～5年後に向けての事業展開に関して～



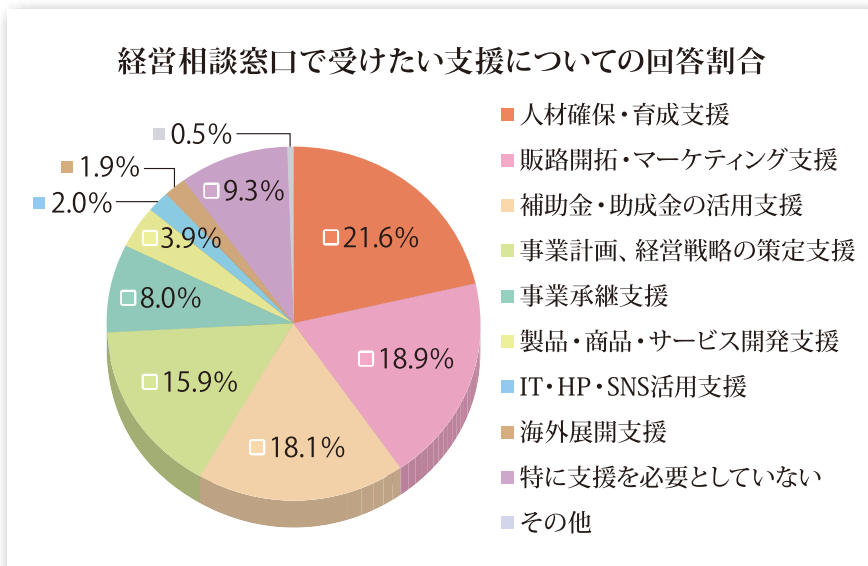
3～5年後に向けての事業展開について、「現在の事業を、現状のまま継続したい」と回答した企業が45.6%、「新しい販路・市場を開拓したい(34.4%)」「新しい製品・商品・サービスを開発したい(14.1%)」「全く異なる事業を手がけたい(1.7%)」と回答した企業が合わせて50.2%となり、現状維持志向の企業と、変化に意欲的な企業がほぼ同等の割合となった。

○ ～積極的な設備投資の開始に関して～

積極的な設備投資を開始する状況について、「景気の先行き不透明感の払拭(29.3%)」と「自社の業況の改善(29.3%)」が同率で最も回答が多く、合わせて6割近くを占めた。次いで、「そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない(13.2%)」が多く、「設備の陳腐化・老朽化(9.0%)」を上回った。「すでに積極化している(5.6%)」は少なく、設備投資に慎重な企業が多い傾向が見られた。



○ ～経営相談窓口から受けたい支援について～



経営相談窓口で受けたい支援について、「人材確保・育成支援(21.6%)」が最も多かった。今回の景気動向調査の結果でも全業種で人手不足判断D.I.は非常に低い値となったことから、企業の人材の確保・育成に対する関心が高いことがうかがわれる。

次いで「販路開拓・マーケティング支援(18.9%)」「補助金・助成金の活用支援(18.1%)」「事業計画、経営戦略の策定支援(15.9%)」となり、また一割近くの企業が「特に支援を必要としていない(9.3%)」と回答した。

イベント関連

●「にっしん輝きメッセ2017」を開催します！

昨年に引き続き、西日本最大規模のビジネスマッチングフェア「国際フロンティア産業メッセ」と同時開催で、「にっしん輝きメッセ2017」を開催します。

今年度も20社の当庫お取引先様がブース出展し、自社技術や製品のPRを行います！

- 会 期：平成29年9月7日(木)・8日(金)10:00～17:00
- 会 場：神戸国際会館展示場1・2号館(神戸ポートアイランド) ※今年度のブース出展の受付は終了しています。

●「明石公園リレーマラソン」に協賛します！

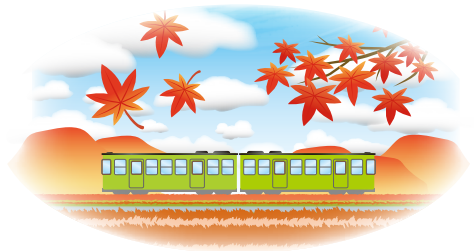
平成24年より当庫が特別協賛している「明石公園リレーマラソン」が、今年も明石公園陸上競技場で開催されます。ご家族、お友達同士、学校や会社の仲間など、チームを作って参加してみませんか？

- 開 催 日：平成29年12月2日(土)
- 開催種目：リレーマラソン、親子マラソン、個人
- 会 場：明石公園陸上競技場
- 詳細はJTBSポータルステーションホームページ <https://jtbsports.jp/>をご覧ください。

●「平成29年度国内旅行」を実施します！

年金受給者様へのサービスとお客様とのより一層の親交を図るため、今秋、国内旅行を実施します。詳細はお取引店までお問合せください。

- 実施日：〈日帰り旅行コース(伊根の舟屋めぐりと天橋立散策)〉
 - ・平成29年10月16日(月)、17日(火)、19日(木)
- 〈一泊二日コース(島根、鳥取/ローカル鉄道の旅)〉
 - ・平成29年11月20日(月)～21日(火)
 - ・平成29年11月21日(火)～22日(水)
 - ・平成29年11月27日(月)～28日(火)



商品関連

キャンペーン商品としてお取扱しております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)
- ★夏のキャンペーン定期預金取扱い中(平成29年8月31日(木)まで)



このたびは、第5回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで